

評価のフロー

教科書の各パートや活動と、評価システムがどのように連携をしているのかを下記のフローでご確認いただけます。

評価の軽重などの比重は、システムが自動的に調整します。



*入力内容はサンプルです。

名簿作成

① 通常の見取り

印刷して評価項目に沿って児童の様子を記述し、A～Cのデータとともに入力。各授業ですべての児童を見取る必要はありません。見取っていない児童は「B」の判定が自動入力されます。

*Starting Out, Your Turn, Over the Horizon など

② 単元目標での見取り

各単元の目標の Enjoy Communication の活動では、評価においてやや大きな比重が置かれます。

各単元の評価

③ 学期末の見取り

各学期末の Check Your Steps は、評価の中心となる活動で、大きな比重が置かれます。

学期末の評価

評価カルテの完成！

各単元と学期末の見取りの数値が自動算定され、記述内容を含めた「個人カルテ」が作成されます。これをベースに、先生ご自身による最終的な調整が加えられ、通知表に記入される評定の参考となる資料が作成されます。

*各授業で記録した評価内容の入力の手間を省く場合は、「各単元の評価」を入力するだけでも、最終的な「個人カルテ」を作成していただくことができます。また、先生方自身で最終的な評価を調整していただける柔軟性のあるシステムです。

自動算定

NEW HORIZON Elementary 5 Check Your Step1 評価表

評価項目	知	思	主	欠席	コメント
知	A				
思		B			
主			A		
欠席				B	
コメント	きちんと内容を理解し、自分の力で話すことができています。				



自動算定

[1] 中 雅彦

1 学期

●Unit評価

観点評価	Starting Out					Your Turn				
	知	思	主	欠席	コメント	知	思	主	欠席	コメント
Unit1	B		A		課題に気付きを興義。	B	B			
Unit2	B		B			A	B			大文字の省前をきちんと
Unit3	A		A		内容をきちんと理解している。	A	B			手帳の語句を使っている。

●Check Your Step 評価

観点評価	知	コメント
Check Your Step1	A	きちんと内容を理解し、自分の力で話すことができています。

●評定

評価	Unit1			Unit2			Unit3			CYS1			システム計算		
	知	思	主	知	思	主	知	思	主	知	思	主	知	思	主
1 学期 評価	A	B	B	A	A	A	A	B	B	A	B	A	A	B	A

東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7416(英語編集部) Fax:03-5390-7300
 支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722
 大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084
 ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>